

事務事業名		食育推進事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				事業区分	担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	農政係		担当課長名	藤掛 広行
	施策	1 心と体の健康づくりの推進					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 健康づくりの推進					実施計画事業・一般事業	実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8635	一般	6	1	2	食育推進事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H21年度～ 年度		根拠法令 条例等	食育基本法					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
						任意的事業・義務的事業	任意的事業				
						実施方法	直営				
						事業分類	広報・広聴・啓発事業				
						リーディングプロジェクト	該当なし				
						市長マニフェスト	1-6				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
「佐野市食育推進計画」に基づき、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう食育を総合的かつ計画的に推進する。		・食育推進会議の開催 ・食育講演(米粉の食育講座)の開催					
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	食育推進会議	回	2	2	2	2	2
	食育講演会	回	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	佐野市の人口	人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

食育の推進	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	「食生活バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合	%	6.0	10.7	8.8	40.0	50.0
	とちぎ健康21協力店	店	36	35	36	45	48
	食育を意識する人の割合	%	33.0	67.0	69.6	70.0	80.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

生涯にわたり、心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	健康づくりに取り組んでいる市民の割合(市政に関するアンケート)	%	73.8	75.8	73.6	77.0	78.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	59	60	40	50	50			
	事業費計(A)	千円	59	60	40	50	50			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	35	報償金	60	報償金	40	報償金	50
			消耗品費	24						
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
	のべ業務時間	時間	700	600	600	600	600			
	人件費計(B)	千円	2,724	2,365	2,365	2,365	2,365			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,783	2,425	2,405	2,415	2,415			

事務事業名	食育推進事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	--------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年度に施行された食育基本法により、市町村は食育推進基本計画を作成するよう努めなければならないとされ、平成20年度に「佐野市食育推進計画」を策定した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	食の安全や食生活に注意を払う人とそうでない人の二極化が進展している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市総合計画と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	食育基本法に基づき、食育の推進は地方公共団体が施策を策定、実施する責務を有している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	計画の推進は全市民を対象としている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	平成25年度に「佐野市食育推進計画」の見直しを行い、計画期間を延長した。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の費用であり、削減は望めない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求められない	理由・改善案	受益者は市民である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	食育は生涯にかかわる事業のため、終了は予定していない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	○	×																		
	低下	×	×																		